

みやぎGPN活動報告 0220



今回の内容

グリーン購入セミナーinみやぎ テーマ:サーキュラ-エコノミー
令和5年2月20日 仙台市民活動サポートセンター



まず初めにみやぎグリーン購入ネットワーク代表の猪股宏氏により公共建築物の木造化と県産材利用目標を100%に設定する岩手県の記事の紹介、新潟県で歩道に木材を利用していた事例、国外の高層木造構造物といった木材利用の政策や事例について紹介がありました。グリーン購入としては、資源がどうやって出来ているのか？その元を考えていくことがとても重要であるという話しに続き、化学的分野では森林を持続可能な資源として見直し、紙をエレクトリックデバイスとして利用する研究や車のボディー用のセルロースナノファイバーの開発、近年は、セルロースの構造についても研究が進んでいるというお話しまで及び、森林に期待溢れるオープニングとなりました。

Session 1 として昨年11月2日にみやぎグリーン購入ネットワーク主催で実施した事業所見学会において、登米町森林組合竹中参事による講演「NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」が描いた林業の今そして未来」と題し、日本林業の現状を解りやすく丁寧に紹介して頂いた収録映像の上映を行いました。講演の中で「私たちの身近にあるけれど遠い森」という言葉が特に印象に残りました。登米町森林組合はF M認証を取得し積極的に森林に手を入れています。そこで育てられた木材を利用する人たちが輪となり地域ブランドとして繋がっていく姿は「つくる責任つかう責任」の理想的な形だと感じました。続いて同じ日に宮城県林業技術総合センターに場所を移しお話しいただいた櫻田建築設計(株)様の発表「CLT工法の現状と課題」についてスライドを元に事務局で解説を行いました。



Session2では、NPO法人環境会議所東北が昨年4月より実施している使用済みギター弦の回収とリサイクルについての取組「新循環」ミュージックドネーションについて広報委員として参加している、なおコンサルティング佐藤代表より説明がありました。この取組みはSNS等により全国へ広がりを見せており再資源化を見据えながらこのリサイクルの芽を今後も育てていくことになりました。

循環するシステム ミュージックドネーション



令和5年2月20日
2022年度グリーン購入セミナーinみやぎ

私たちの知らない非鉄金属のリサイクルについて

ニッコー・ファインメック株式会社
取締役専務 熊谷 裕徳

主な事業内容



金について勉強しよう! Part2



最後にSession 3 「私たちの知らない非鉄金属のリサイクルについて」と題しニッコー・ファインメック(株)熊谷様より、リサイクル企業から見た資源循環の現状と展望について、オリパラのメダル製作の取組などを交えて説明がありました。またこれまで焼却・埋め立てされていた貴重な金属資源を再利用する為、小型家電の回収更にはリサイクル技術の革新によってニッケル電池など再生可能な資源が増えてくることに期待が持てます。循環型社会達成に向け消費者である私たちが資源循環に敏感になっていくことは重要です。

みやぎグリーン購入ネットワークとしてもモノを資源としてきちんと捉え、新年度より宮城県内におけるリサイクルの受け皿をHP等で紹介していく活動に力を注いでいくことを参加者の皆様にお約束しました。